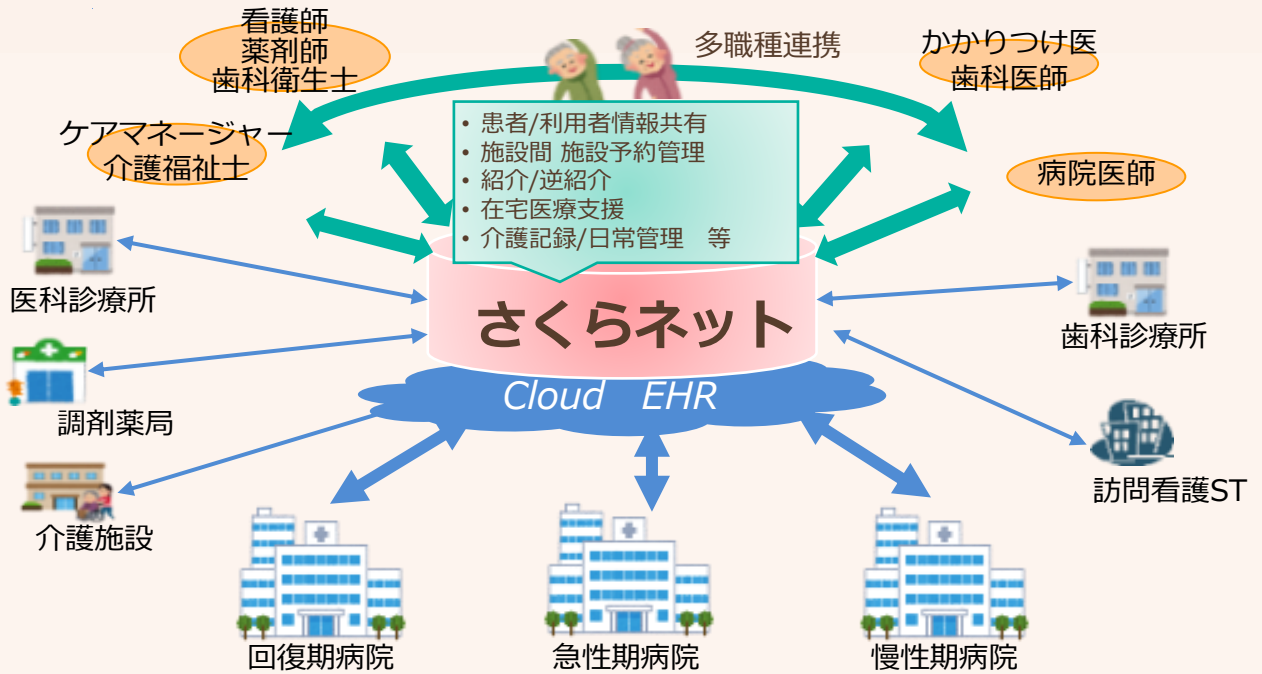


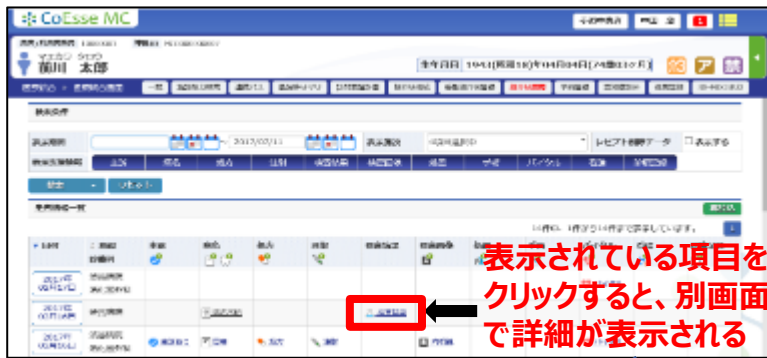
「さくらネット」とは

医療・介護の専門職が協力し、国・県・地域が有機的に連携する、公的施策としての「住民の健康を支えるための仕組み」です。

病院・医科歯科診療所・薬局・介護事業所間で病名・処方・検査結果などの健康・医療・介護に関する情報をお互いに共有活用します。



医療と介護を分断することなく患者/利用者単位で統合化して 情報を共有



検査画像画面



検査詳細画面

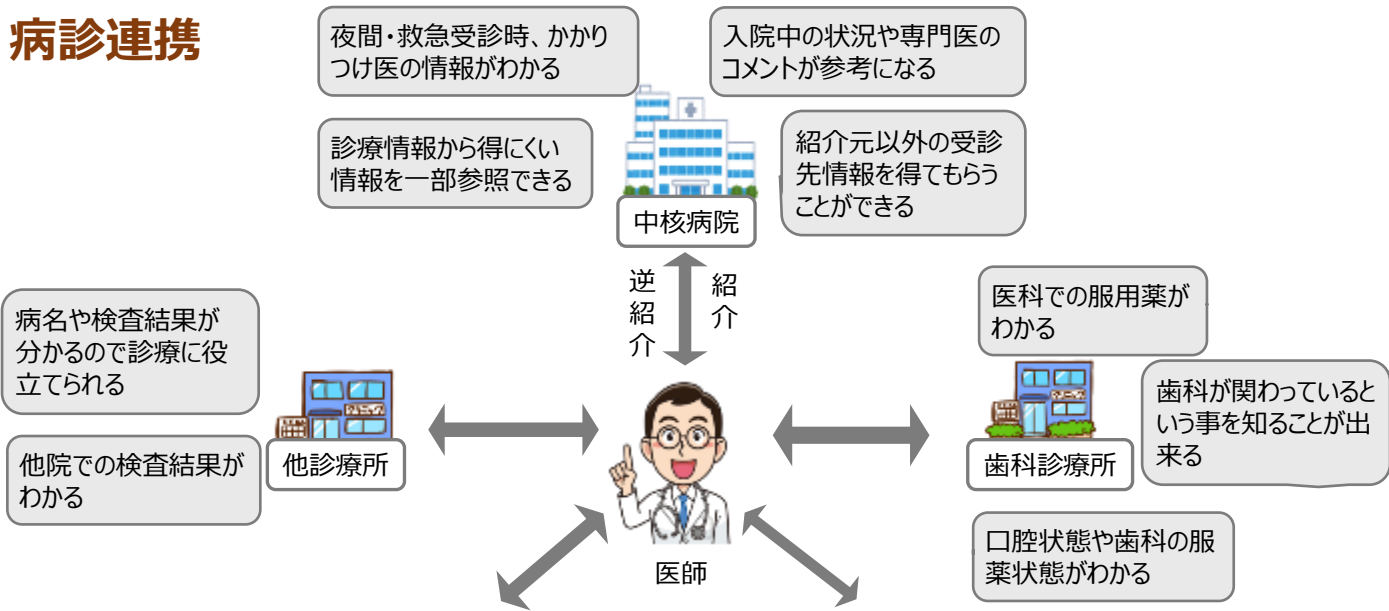


処方詳細画面

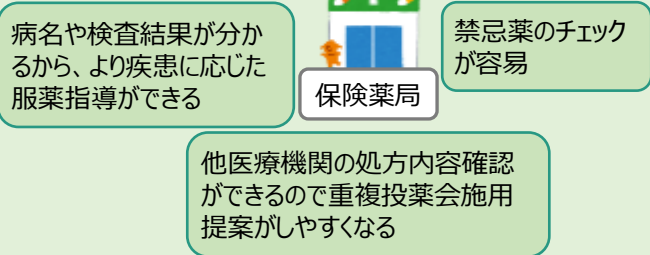


「さくらネット」の連携イメージ

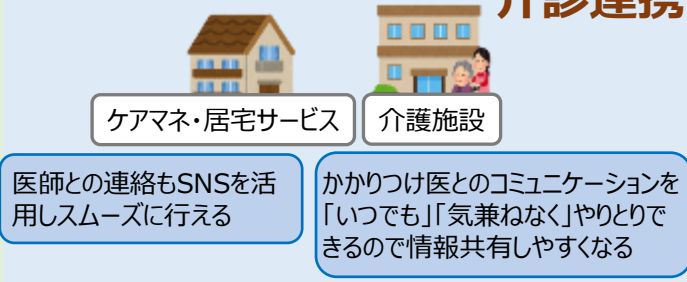
病診連携



医薬連携



介護連携



特徴

- 施設をつなぎます 病院・診療所・保険薬局・介護施設等の医療と介護に関わる施設をネットワークでつなぎます
- 情報をおつめます 各施設で使用している既存システムから自動的に情報をおつめる仕組みを導入します
- 情報をまとめます 医療と介護の情報を患者毎に一体的にみることができます
- 情報を共有します 病院・診療所での患者情報の共有、メール機能など、共有する様々なツールを提供します

効果

1. 医療・介護サービスの質的向上
2. 問い合わせ対応等の負荷軽減
3. 医療・介護の連携強化
4. 医療・介護の垣根を超えたチーム医療の実現

ICTの特徴

- 患者の医療情報と介護情報の統合化 様々な施設(病院、診療所、薬局、介護施設等)にある医療情報と介護情報が、詳細内容が時系列で表示されます
- 電子カルテのみならず、レセコンやPACS画像及び介護システム情報も自動連携 参加施設が保有している電子カルテやレセコン等に存在する患者情報を、定期的に収集してクラウドへ自動登録します (ID名寄せの自動化)
- 都市型EHR連携システム 患者・利用者の情報の参照・編集については、「自施設患者」のみになると同時に職種別に権限設定が可能となります